

二二三三番

あまくも 天雲の よそに雁が音 聞きしより はだれ霜降  
り 寒しこの夜は

二二三三番

あき 秋の田の 我が刈りばかの 過ぎぬれば 雁が  
ねき 音聞こゆ 冬かたまけて

二二三四番

あしへ 葦辺なる 荻の葉さやぎ 秋風の 吹き来るなへ  
に 雁鳴き渡る